

公益的機能の維持増進・地球温暖化防止等に向けた取組(森林整備事業)

管轄区域は、八ヶ岳連峰、南アルプス及び中央アルプス等の山岳で囲まれているため、地域の国土保全、水源のかん養に果たす役割がきわめて大きくなっています。

また、「糸魚川ー静岡構造線」と「中央構造線」の2大構造線のほか多くの構造線が管内を走っていることから、複雑で脆弱な地質地帯が多く、水質保全や土砂の崩壊・流失を防ぐための治山事業及び森林整備事業を行い、森林の公益的機能の維持増進、地球温暖化防止対策に取り組みます。

○ 公益的機能の維持増進や地球温暖化防止対策を推進するため間伐等の森林整備を計画的に実施します。
H29計画 間伐:38.8千㎡ 主伐: 9.4千㎡

○ 素材生産と造林(コンテナ苗)を組み合わせた伐採・造林一貫作業、下刈回数の低減や防鹿柵の立木利用等による低コスト化のための取組を実施します。



列状間伐作業地



低コスト路網の整備